

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 20 年 4 月 24 日 (2008.4.24)

【公開番号】特開 2005-343565 (P2005-343565A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-049
 【出願番号】特願 2004-377612 (P2004-377612)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 83/14 (2006.01)

B 0 5 B 9/04 (2006.01)

B 6 5 D 83/40 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 B R L F

B 0 5 B 9/04

B 6 5 D 83/14 E

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 3 月 6 日 (2008.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耐圧容器の開口部にエアゾールバルブを固着したエアゾール容器に装着される噴射部材であって、

エアゾールバルブのステムに装着され、上下動可能な押しボタンと、

エアゾール容器の頭部に装着されるカバー部材とからなり、

前記押しボタンは、前方に噴射孔を有し、

前記カバー部材が、エアゾール容器に装着される装着部と、その装着部から上方に延び、

押しボタンの両側面を覆う一対の側壁部を有し、

前記それぞれの側壁部の内面に内向きに突出する突出部が形成されており、

前記突出部の下面が押しボタンの上面とほぼ同じ高さになるように構成されており、

前記突出部と押しボタンの上面との間にコインを挿入して、エアゾールバルブを開放位置で保持し、

前記一対の側壁部の間の前方が、前記噴射孔から噴射されたエアゾール組成物が通るように開放され、

前記一対の側壁部の間の後方が、前記押しボタンを押し下げのための指を挿入できるように、かつ、挿入されたコインを後方へ引き抜くことができるように開放されている、噴射部材。

【請求項 2】

前記カバー部材が、突出部と押しボタンの上面との間にコインを挿入したときにコインの先端に係止する係止部を有する、請求項 1 記載の噴射部材。

【請求項 3】

前記突起部の下面が押しボタンの上面に対して平行となっている、請求項 1 記載の噴射部材。

【請求項 4】

前記コインが直径 20 ～ 30 mm、厚さ 1 ～ 3 mm である、請求項 1 記載の噴射部材。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明のエアゾール製品の噴射部材は、耐圧容器の開口部にエアゾールバルブを固着したエアゾール容器に装着される噴射部材であって、エアゾールバルブのステムに装着され、上下動可能な押しボタンと、エアゾール容器の頭部に装着されるカバー部材とからなり、前記押しボタンは、前方に噴射孔を有し、前記カバー部材が、エアゾール容器に装着される装着部と、その装着部から上方に延び、押しボタンの両側面を覆う一対の側壁部を有し、前記それぞれの側壁部の内面に内向きに突出する突出部が形成されており、前記突出部の下面が押しボタンの上面とほぼ同じ高さになるように構成されており、前記突出部と押しボタンの上面との間にコインを挿入して、エアゾールバルブを開放位置で保持し、前記一対の側壁部の間の前方が、前記噴射孔から噴射されたエアゾール組成物が通るように開放され、前記一対の側壁部の間の後方が、前記押しボタンを押し下げるための指を挿入できるように、かつ、挿入されたコインを後方へ引き抜くことができるように開放されていることを特徴としている（請求項１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

このような噴射部材において、前記カバー部材が、突出部と押しボタンの上面との間にコインを挿入したときにコインの先端に係止する係止部を有するものが好ましい（請求項２）。また、前記突起部の下面が押しボタンの上面に対して平行となっているものが好ましい（請求項３）

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

本発明のエアゾール製品の噴射部材は、それぞれの側壁部の内面に内向きに突出する突出部が形成されており、前記突出部の下面が押しボタンの上面とほぼ同じ高さになるように構成されており、前記突出部と押しボタンの上面との間にコインを挿入して、エアゾールバルブを開放位置で保持されるため、日常生活で使用する硬貨などのコインを用いることでエアゾールバルブの開放を容易に行うことができ、エアゾール製品使用後の内容物の排出が容易である。そのため、エアゾール製品の廃棄が容易になる。

また、前記一対の側壁部の間の前方が、前記噴射孔から噴射されたエアゾール組成物が通るように開放され、前記一対の側壁部の間の後方が、前記押しボタンを押し下げするための指を挿入できるように、かつ、挿入されたコインを後方へ引き抜くことができるように開放されているため、内容物の排出後のコインの引抜が容易であり、エアゾール製品の廃棄が容易である。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

前記カバー部材が、突出部と押しボタンの上面との間にコインを挿入したときにコインの先端に係止する係止部を有する場合、挿入したコインを水平状態にしっかり保持できる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

さらに、前記突起部の下面が押しボタンの上面に対して平行となっている場合、も挿入したコインをしっかり保持できる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

前記コインが直径 20 ～ 30 mm、厚さ 1 ～ 3 mm である場合、あらかじめエアゾール製品に付属品としてコインを備えなくてもよく、また、使用者がコインを紛失しても代用品を容易に入手することができ、排出処理することができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

次に本発明のエアゾール製品に用いられる噴射部材の実施形態を図面を用いて説明する。図 1 ~ 図 1 5 は、本発明の範囲外の形態を示す図面である。図 1 6 a は本発明の噴射部材の一実施形態を示す側面断面図、図 1 6 b はその平面図、図 1 6 c はその噴射部材の一部斜視図、図 1 6 d、図 1 6 e はその噴射部材に用いられる突出部の側面図、図 1 6 f はその噴射部材に用いられる突出部の他の実施形態を示す一部斜視図、図 1 7 a、図 1 7 b は図 1 6 a の噴射部材にコインを取り付ける手段を示す側面断面図、図 1 7 c はその噴射部材を取り外す手段を示す側面断面図、図 1 8 a、図 1 8 b、図 1 8 c、図 1 8 d は本発明の噴射部材のさらに他の実施形態を示す正面図、背面図、側面断面図、平面図である。

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 1】

【図 1】本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す側面図である。

【図 2】図 2 a、図 2 b、図 2 c、図 2 d は図 1 に用いられている噴射部材を示す正面図、背面図、側面図、平面図である。

【図 3】図 3 a は図 1 に用いられている噴射部材を示す側面断面図、図 3 b は図 1 に用いられている噴射部材にコインを取り付けたときの状態を示す側面断面図である。

【図 4】図 4 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態にコインを取り付ける直前の状態を示す側面断面図であり、図 4 b は図 4 a の噴射部材にコインを取り付けたときの状態を示す側面断面図である。

【図 5】図 5 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す側面断面図であり、図 5 b は図 5 a の噴射部材にコインを取り付ける直前の状態を示す側面断面図であり、図 5 c は図 5 a の噴射部材にコインを取り付けたときの状態を示す側面断面図である。

【図 6】図 6 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す側面断面図であり、図 6 b は図 6 a の噴射部材にコインを取り付ける直前の状態を示す側面断面図であり、図 6 c は図 6 a の噴射部材にコインを取り付けたときの状態を示す側面断面図である。

【図 7】図 7 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す側面断面図であり、図 7 b は図 7 a の噴射部材にコインを取り付ける直前の状態を示す側面断面図であり、図 7 c は図 7 a の噴射部材にコインを取り付けたときの状態を示す側面断面図である。

【図 8】図 8 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す側面断面図であり、図 8 b、図 8 d は図 8 a の噴射部材に用いられるキャップの実施形態を示す側面断面図であり、図 8 c は図 8 a の噴射部材に用いられる押しボタンの実施形態を示す側面図であり、図 8 e は図 8 d のキャップの正面図である。

【図 9】図 9 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す正面図であり、図 9 b は図 9 a の押しボタンを示す斜視図であり、図 9 c は図 9 a にコインを取り付けたときの状態を示す正面図である。

【図 10】図 10 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す斜視図であり、図 10 b は図 10 a の噴射部材を取り付けたエアゾール製品の他の実施形態を示す側面図である。

【図 11】図 11 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す斜視図であり、図 11 b は図 11 a の噴射部材の側面図である。

【図 12】図 12 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す斜視図であり、図 12 b は図 12 a の噴射部材の側面図である。

【図 13】図 13 a は本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す斜視図であり、図 13 b は図 13 a の噴射部材の噴射部材本体とキャップとを装着させる前を示す正面図であり、図 13 c は図 13 a の噴射部材の側面図である。

【図 14】本発明の範囲外の噴射部材の形態を示す側面断面図である。

【図 15】図 15 a は図 14 の噴射部材にコインを取り付けたときの側面断面図であり、図 15 b および図 15 c はその噴射部材にコインを取り付けたときの背面図、平面図である。

【図 16】図 16 a は本発明の噴射部材のさらに他の実施形態を示す側面断面図であり、図 16 b はその平面図、図 16 c はその噴射部材の一部斜視図であり、図 16 d、図 16 e はその噴射部材に用いられる突起の側面図であり、図 16 f はその噴射部材に用いられる突起の他の実施形態を示す一部斜視図である。

【図 17】図 17 a、図 17 b は図 16 a の噴射部材にコインを取り付ける手段を示す側面断面図であり、図 17 c はその噴射部材を取り外す手段を示す側面断面図である。

【図 18】図 18 a、図 18 b、図 18 c、図 18 d は本発明の噴射部材のさらに他の実施形態を示す正面図、背面図、側面断面図、平面図である。